

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月1日

事業所名 スタジオそら原宿

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	4	2	0	時間により空間が狭い場合あり。時間割再編時に検討する。
	② 職員の配置数は適切であるか	6	0	0	適切に行っている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	3	スタジオ入口の階段。スタッフが都度対応している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	6	0	0	日々の業務に対して成長するスピードが速い。簡素化を図る。
	⑤ 保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	4	0	2	アンケートの機会は限られる。FB時、都度確認している。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	0	事業内にて保護者閲覧ファイルを作成し設置している。次回HPIにも掲載する。
	⑦ 第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	6	第三者評価はまだ実施していない。実施できるよう検討する。
	⑧ 職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	研修の回数が多く現場に落とすのに時間が必要。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	月1回利用のケースが課題。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	ツールは確実に増えてきたがアセスメントをまだ全員がとれないのが課題。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	0	イベントはチーフ主導だが、通常プログラムに関してはチームで考えることができている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	毎日の打ち合わせで振り返りし固定化しないように努めている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	6	0	0	季節に合わせたイベントの開催やおぞらのテーマを月毎に設定している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	曜日や時間で個別・集団を設定しているので保護者都合の面もある。段階に応じて相談が必要。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	日々行っている。1日担当できる責任者の育成が必要。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6	0	0	日々行えている。 全員で共有していけるようにしていく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	行えている。若干のバラつきがある。スタッフの技術向上を目指す。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3	0	時間の確保が課題。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6	0	0	ペアレントトレーニングが課題。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	0	管理者が参加。(特定の地域以外はほとんどが電話での聞き取り要請)
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル対応)を適切に行っているか	0	4	2	保護者を通じてが多い。直接連携の機会を増やす。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	6	対象児の利用がない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	3	3	保育園見学を要請があれば都度行っている。
	㉔	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	0	0	6	対象児の利用がない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	0	協議会などの機会で行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	6	機会がないため、他事業所などを参考に企画していく必要がある。
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	0	積極的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	フィードバックにて都度行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	0	1	5	行えていない。セミナーの開催を企画したい。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	都度説明をしている。

保護者への説明責任等	①	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	3	0	知識の偏りがあり。均一にしていけることが目標。
	②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	2	0	4	法改正の際に実施。ニーズがすくない。
	③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	都度対応を検討している。
	④	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	そら通信を発行している。
	⑤	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	常に配慮をしている。
	⑥	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	文字盤、サインなどの取り入れ。もっと知識を増やしていく。
	⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	0	全体でのイベントにて地域住民とコンサートを開催している
非常時の対応	⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	保護者閲覧用を作成し設置している。
	⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	年に2度、週間を設けて実施している。
	⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	定期的に研修を実施している。
	⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	6	0	0	マニュアルの整備を実施した。
	⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	1	保護者確認を随時行っている。
	⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	毎月定期的に作成・提出をしている。